

# 林道事業再評価調書

事業名	林道開設事業（森林基幹道）	路線名	ぜんどうせん 禅僧線																	
事業主体	徳島県	関係市町村	海陽町(旧海南町)																	
事業概要	<b>【目的】</b> ・本路線は、海部郡海陽町神野の国道193号から分岐した林道「荒谷線」と「神野岡本線」の接続部分を起点として、海陽町大比の「林道大木屋小石川線」へ連絡する森林基幹林道である。 ・当区域は、海部川上流の急峻な地形に広大な森林を有し、また、禅僧スギとして有名なスギの古木が密集し非常に資源の豊富な区域であるとともに、海部川下流域に位置する集落等の重要な水源区域でもある。このことから当区域の広大な森林資源の合理的な林業経営に資するための重要な基盤とし整備することにより、森林整備の促進による森林の持つ公益的機能の維持・増進と、中山間地域の雇用増進を図ることを目的とする。 ・災害時における県道及び町道の不通時には、大比、平井集落の迂回路等としての役割を担う。																			
	<b>【内容】</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">利用区域面積</td> <td style="width: 30%;">1,052ha</td> <td style="width: 40%;">[人工林面積:838ha (80%) ]</td> </tr> <tr> <td>受益戸数(森林所有者数)</td> <td>93戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅員</td> <td>3.5～4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画延長</td> <td>12,000m</td> <td>(うち平成30年度末の供用予定延長 2,195m)</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,240,000千円</td> <td>(うち平成30年度末の実施予定事業費 800,739千円)</td> </tr> <tr> <td>事業予定期間</td> <td>平成16年度～平成45年度</td> <td>(30年間)</td> </tr> </table>			利用区域面積	1,052ha	[人工林面積:838ha (80%) ]	受益戸数(森林所有者数)	93戸		幅員	3.5～4.0		計画延長	12,000m	(うち平成30年度末の供用予定延長 2,195m)	総事業費	3,240,000千円	(うち平成30年度末の実施予定事業費 800,739千円)	事業予定期間	平成16年度～平成45年度
利用区域面積	1,052ha	[人工林面積:838ha (80%) ]																		
受益戸数(森林所有者数)	93戸																			
幅員	3.5～4.0																			
計画延長	12,000m	(うち平成30年度末の供用予定延長 2,195m)																		
総事業費	3,240,000千円	(うち平成30年度末の実施予定事業費 800,739千円)																		
事業予定期間	平成16年度～平成45年度	(30年間)																		
事業評価	<b>【事業の進捗状況】</b> 平成16年度に着工し、起点側629m、終点側1,566mが共用を開始している。当区域は、起伏の激しい地形条件で大比地区集落の集水区域で重要な水源地であるため濁り防止対策により事業費が増となった。平成26年度よりは起点側からの開設工事に着手している。また、平成32年度に当林道との接続を予定する、林業専用道「木戸ヶ谷支線」を計画しており、接続地を起点とした新たな開設口を設けることにより事業進捗の推進が図られる。 <div style="text-align: right;">[進捗率:18.3%]</div>																			
	<b>【関連事業の整備状況】</b> 当該路線区域では、県林業プロジェクトの推進に資するため、平成17年度から森林整備の実施に取り組んでおり、今後も森林の多面的機能維持を含めた森林整備が実施される予定である。																			
事業評価	<b>【社会経済情勢の変化】</b> 本県では、充実してきた森林資源を背景に、「新次元林業プロジェクト」を展開しており、平成36年度(2024年)までに「県産材の生産量・消費量を60万m <sup>3</sup> /年」を戦略目標の一つとしている。 森林資源の更なる利用を図り、高まる木材需要に対応するため、県産材の一層の増産と、それを担う人材育成が急務であり、生産性のさらなる向上を図るため、本格的な主伐にも対応した「新林業生産システム」として「高性能林業機械の大型化」とともに、搬出量の増加に対応する路網整備が重要な課題である。 当林道は、海部郡海陽町神野の国道193号から分岐した林道「荒谷線」と「神野岡本線」の接続部を起点として、海陽町大比の林道「大木屋小石川線」へと連絡する森林基幹道であり、災害時における県道や町道の不通時には、大比、平井集落の迂回路等としての役割を担う。 また、今年度より、当林道との接続する林業専用道「木戸ヶ谷支線」の開設工事着手を予定しており、当林道と連絡することにより、施工の効率化及び、森林整備の促進が図られる。 当区域は、海部川上流の急峻な地形に広がる広大な森林を有し、禅僧スギとして有名なスギの古木が密集する、森林資源の豊かな区域であり、海部川下流域の集落等への重要な水源区域でもある。																			
	<b>【計画上重要な部分の変更の必要性の有無】</b> 無し																			
事業評価	<b>【事業効果の発現状況】</b> 供用開始した区間では、平成29年度までに間伐をはじめとする森林整備が延べ541haを実施している。また、大比地区飲料水施設の維持管理に関するメンテナンス労力が軽減されている。 <div style="text-align: center;">[費用対効果]      1.86      (国の採択基準は1.0以上)</div>																			
	<b>【受益者・関係機関の意向】</b> 適切な森林施業と管理をおこなう上で重要となる当林道に対する期待は大きく、また、緊急時の迂回路等としての機能を有する側面を兼ね備えるため、海陽町、地元住民、森林所有者等は早期完成を強く望んでいる。																			
事業評価	<b>【事業の実施方針】</b> 継続して事業を実施する。																			